

第三回クラブ対抗戦の実施について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、今後のスケート競技の発展とオリンピックでの団体戦導入によるカップル競技強化が重要な課題となっており、以下の要領にて実施しますので、各クラブ所属選手の皆様には積極的なご参加を賜りたく、宜しくお願ひ致します。

記

1. 第三回大会：2016 スプリングトロフィー
2. 対象クラブ：
  - A. 東京都スケート連盟・千葉県スケート連盟への登録団体。(練習リンクではありません。)
  - B. 男子・女子・ペア・アイスダンスの4カテゴリーの内、2つのカテゴリーに出場したクラブ。  
\*カップル競技に対する所属クラブは異なってもよい。  
\*シングルとカップル競技に同一選手が重複して出場してよい。
3. 対象クラス：クラブ対抗戦の専用クラスは設けない。通常開催する中で、以下のクラス対象とする。  
男女シングル・・・ジュニアクラス (ISU ジュニア課題)  
アイスダンス・・・全てのクラス (課題は7を参照、フリーを優先順位とする。)  
ペア・・・ペアクラス (課題は6を参照)
4. クラブ対抗戦の対象となる選手：対象クラスにおいて、以下の通り。  
男女シングル・・・それぞれ所属クラブの中で獲得した得点の上位2名  
ペア・アイスダンス・・・それぞれ申告した所属クラブの中で上位1組
5. アイスダンス・・・パターンダンスクラス課題 (キーポイント判定なし)  
バッジテストにあるパターンダンス課題を選択ください。(自由選択)
6. ペア・・・ペアクラス課題  
採点するプログラム・コンポーネンツ：スケーティングスキル・パフォーマンス  
レベル判定：Bで固定。プログラム構成は以下の通りとする。(演技時間：1分～2分)
  - a) リフト1つ グループ1 (わきの下を支えるもの)、グループ2 (腰を支えるもの) から選択  
\*片腕ホールドは不可。今回は回転数を問わない。
  - b) ソロ・ジャンプ1つ (1回転または2回転または3回転)
  - c) ソロ・スピン1つ (足換えなし・姿勢変更は任意) またはペア・スピン1つ
  - d) 任意のピボット・フィギュア1つ
  - e) 1つのステップシークエンスで氷面を一杯に使ったもの\*今回はシングルに近い形での課題設定にしております。リフトされるパートナーの体全体を、支えるパートナーの頭より上に上げてはいけません。

以上。